

1. 意見

別紙添付

近年、大雨による洪水、記録的な熱波などが地球規模で発生している。

これらの異常気象と、さらには地球温暖化が重なって日本各地で記録破りの豪雪や集中豪雨のほか、一方では猛暑による水がめの枯渇現象も起っている。

ここ、天塩川流域の市町村でも台風や発達した低気圧などによる大雨に見舞われ、大きな被害が発生している。

このような予測のつかない気象現象に対応するため、河川の改修や堤防の整備と併せて、豪雨時の洪水調整、渇水時期の水道用水の安定的な確保を図るため、サンルダムの果たす機能が有効と考えられる。

さらには小電力ではあるが、利水面での水力発電所の設置による二酸化炭素の排出削減に効果が期待される。

以上のことから、本河川整備計画（原案）を実施するにあたっては関係機関や関係市町村等と連携を図り、積極的に推進されますよう希望します。